◉令和8年度各事業所の様子

社会福祉法人そよかぜの機関紙

そよかぜだより

第160号
発行2026.10.18

社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
☎042-578-0855
fax.042-578-0466







法人全体会議と研修会を開催しました

私たちそよかぜは、6月11日に**法人全体会議**と**法人全体研修会**を開催しました。法人全体会議では、毎年この時期に全職員が集まり、事業所ごとに年度の事業計画を発表しています。会議に先立ち、理事長から「法人全職員が一堂に会し、気持ちを一つにすることが大切だ」とお話しがありました。このことは、法人全体会議を開催する意義の一つでもあります。

同じ法人内であっても、課題や目標は事業所によってさまざまです。法人の理念「利用者一人ひとりによりそい、人として当たり前の生活を当たり前に送ることができる社会の実現に努める」を根底に、制度や社会状況の変化に合わせながら、それぞれの事業所が課題や目標を整理し、今年度の事業計画を作成しています。利用者の皆さまに安心してご利用いただける事業所であることはもちろん、前年度よりもさらに良い事業所を目指していくために、職員一人ひとりが思いを新たにし、決意を共有する場となりました。

法人全体会議に続いて、一般社団法人あんぷの竹矢恒様を講師にお招きし、法人全体研修会を開催しました。今回の研修テーマは「組織とは何か?」。障害者福祉を取り巻く環境や、そよかぜが直面する状況が日々変化する中で、「今の障害者福祉に求められていることは何か?」、そしてそれに対して組織としてどう対応していくのかを学びました。「なぜ組織があるのか」、「私たちの組織の存在根拠とは何か」といった問いを通して、私たちが当たり前のように所属している「組織=そよかぜ」の意味について改めて考え、職員一人ひとりが組織の一員としての自覚を持つ機会となりました。

「支援が治療になっていないですか?」、「卓越性を追求していますか?」など、竹矢様から投げかけられるさまざまな問いに、職員一人ひとりが自分自身や日々の仕事を振り返り、それぞれに新たな気づきを得ることができました。とても内容の濃い、充実した研修となりました。研修後には、職員から、「組織の一員として自分の卓越性について考えた」、「支援力を成果につなげるチーム作りをしていきたい」、「セルフスターターの姿勢を身に着けたい」といった声が聞かれました。

今回の研修で得た学びや気づきを日々の支援や業務に活かし、職員同士が力を合わせ、組織として地域に貢献できるよう、これからも努めてまいります。

竹矢 恒　一般社団法人あんぷ代表。長年にわたり、障害のある方の支援に従事。支援に困っている事業所のコンサルテーションや、強度行動障害・虐待防止に関する研修を主な活動領域としている。

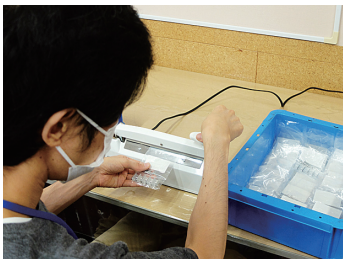
令和8年度各事業所の様子

福祉作業所ひばり園（就労移行支援・就労定着支援）

上半期は、**地域企業とのつながり**が一層深まった半年となりました。地元企業4社から新たに作業をご依頼いただき、日々作業訓練として取り組んでいます。その一つの名刺作成では、利用者がデザインを担当し、完成した名刺を定期的に納品しました。また、部品の個装、教育現場からのご依頼で封入作業も行いました。今後は、高齢者施設に出向いての清掃も予定しています。利用者の皆さんには、品質や納期を意識し責任を持って取り組む姿勢を、今後の就労先でもぜひ生かして頂けたらと期待しています。また、企業見学や実習の機会にも恵まれ、2名の方が一般就労されました。下半期も、**利用者一人ひとりのペース**を大切に、**企業の皆様と連携した支援**を続けて参ります。

就労定着支援事業では、他事業所より一般就労された方への定着支援のご相談もありました。職場訪問や月一回の対面支援を基本に、安心して働き続けられるようサポートしていきます。





福祉作業所ひばり園（就労継続支援B型）









暑い夏となりましたが、酷暑の季節に発生した災害のニュースに触れるたび、被災された皆様が一日も早く安心した生活を取り戻されることを、福祉施設の職員として願う日々です。今年度の目標の一つに**工賃維持のため、経費を意識し、所要経費を減らす**があります。物価高騰により経費が増加する中、ひばり園ではペーパータオルの使用をやめ、ハンカチを持参する取り組みを始めました。忘れるとソワソワする人もいるほど、少しずつ定着しています。小さな取り組みを通して、経費削減と一人ひとりの意識向上につながればと思います。下半期は日帰り旅行や新年会など、イベントが目白押しです。全力で楽しんでいきます。

リサイクルショップくれよん（福祉作業所ひばり園の出張所）

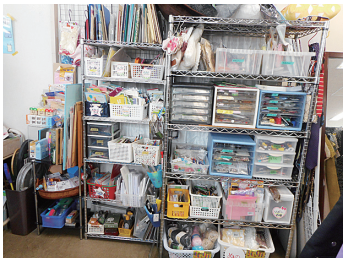
令和8年度は、お客様や利用者が商品を見つけやすいように整理整頓を心がけ、店内やバックヤードの模様替えを実施しました。そして商品を種類別にカゴやケースで仕分けたことで、商品の場所を把握しやすくなり、利用者さんが一人で自信を持って品出しができています。また毎日いただいている沢山の提供品は、お店で販売するだけでなく、4月にひばり園の昼休みを利用して行なった**出張くれよん販売**や8月の納涼祭のゲームの景品としても大活躍しました。施設全体で楽しく活用させていただいております。

※お店の営業時間やセール情報が知りたいときは、**リサイクルショップくれよん予定表**とネットで検索してください。









福祉作業所スマイル工房（就労継続支援B型）





9月25日（金）高尾山トリックアート美術館へ出かけました。当日は出発前からみんなの期待の高さが感じられ、一日中笑顔があふれる旅行となりました。

館内では、目の錯覚を利用した不思議な作品の数々を鑑賞しました。特に印象的だったのは、エジプトをテーマにした独特の雰囲気です。壁や床に描かれた絵が立体的に見えることで、自分も作品の一部になって絵の中に入り込んだように見える写真を撮ったり、立体的に見える展示に驚いたりと、あちらこちらで歓声や笑い声が聞かれました。普段の作業場面ではなかなか見られない表情や反応が次々と生まれ、職員にとっても新鮮で嬉しい時間となりました。





美術館鑑賞の後は、高尾山の大自然を身近に感じながら、季節のイタリアンランチをいただきました。ピザやパスタをはじめ、彩り豊かな料理を囲み、和やかな昼食のひとときとなりました。おいしい食事に自然と笑顔が広がり、心もお腹も満たされました。

今回の旅行はトリックアート美術館での主体的に楽しむ体験を利用者、職員と共有することで交流が深まり、思い出に残る一日となりました。今後も、季節を感じながら楽しめる行事を企画していきたいと思います。

指定特定相談支援事業所ゆい

上半期を振り返り、指定特定相談支援事業所ゆいでは、初めて就労系福祉サービスの利用を希望される方からのご相談に加え、一般就労を継続されている方から、グループホームの利用についてのご相談も増えました。「将来は一人暮らしをしたい」、「親の高齢化に備え、今後の生活について準備をしておきたい」といった内容です。就労面で大きな困りごとがなくても、将来の暮らしを見据え、生活面での支援を必要とされる方が増えています。

働き続けながら自分らしい地域生活を実現するためにも、就労だけでなく生活面も含めた支援が、今後ますます重要になると感じています。

羽村市障害者就労支援センター エール



今年のエールイベントは、お仕事をされている方を対象として、日帰りバスツアーを実施しました。日頃はそれぞれ違う所でお仕事をがんばっている皆さんが、1日一緒に行動する中で、地域で「知り合い」になり、つながりや安心を感じてもらうことが目的です。

行き先は新江の島水族館と大仏・長谷寺です。新江の島水族館では、イルカやクラゲのショーに癒されました。昼食後は高徳院の大仏の大きさに圧倒され、写真撮影タイム！ その後長谷寺に寄って、厚木PAに寄りながらエールに戻ってきました。あっという間の一日でしたが、皆さんの笑顔がたくさん見られるステキな旅行になりました。

令和7年度 社会福祉法人そよかぜ決算額

法人全体 事業別収入 300,675,339円

（単位：円）

福祉作業所ひばり園（本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）200,692,573
指定特定相談支援事業所ゆい6,500,568
羽村市障害者就労支援センターエール25,076,100
福祉作業所スマイル工房67,658,187
資源回収747,911

法人全体 事業別支出 301,329,636円

（単位：円）

福祉作業所ひばり園（本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）197,870,521
指定特定相談支援事業所ゆい7,365,707
羽村市障害者就労支援センターエール27,733,484
福祉作業所スマイル工房68,007,025
資源回収352,899

法人全体 事業支出別明細 301,329,636円

（単位：円）

就労支援事業39,480,441
支払利息支出160,828
人件費193,322,204
事業費9,908,605
積立資産支出19,000,000
設備資金借入金元金償還支出852,000
事務費31,673,864
ファイナンスリース債務返済支出448,184
固定資産取得支出6,483,510

令和8年度 社会福祉法人そよかぜ当初予算額

法人全体 事業別収入 318,456,000円

（単位：円）

福祉作業所ひばり園212,131,000（本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）
福祉作業所スマイル工房72,850,000
資源回収732,000
指定特定相談支援事業所ゆい6,908,000
羽村市障害者就労支援センターエール25,835,000

※一部繰入繰越充当

法人全体 事業別支出 319,276,000円

（単位：円）

福祉作業所ひばり園208,522,000（本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）
福祉作業所スマイル工房71,818,000
資源回収727,000
指定特定相談支援事業所ゆい8,178,000
羽村市障害者就労支援センターエール30,031,000

福祉作業所ひばり園（就労移行支援事業）

利用者募集中

「就職したいけど、どうしたらいいのか分からない」
「自分に合っていることが分からない」

そんなときは、いつでもお気軽にお問い合わせください。

〇週4日通所や午後からの通所もOK。
〇就職までのスピード感も相談可。

見学、相談は随時受付中。職員一同お待ちしております。

福祉作業所スマイル工房からのお知らせ

スマイルカフェでのパン販売は奇数月（1月を除く）第1土曜日に行っています。次回は11/7（土）11：00～15：00に行います。バザー（10：30～）も同時開催していますのでぜひお越しください。また、カフェスペースを貸し切りでご利用いただくことができます。会議や打ち合わせに、お友達とのおしゃべりの場や趣味のサークル活動場所などにご活用ください。事前のご予約が必要ですので、遠慮なくお問い合わせください。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

ここ二年程、実は英語を学んでいます。その効果を実感するために、飛行機に乗って外国に出かけました。現地のカフェやお店、飛行機の中で会話を楽しめたことが自信になり、学び続ける動機になっています。さて、今号では法人全体研修について触れました。基本的なことから、ハッとすることまで充実した内容で、学ぶことが多かったと実感しています。研修の効果は一週間とよく言われます。研修の受講はきっかけであり、日々の意識と行動、その努力の積み重ねが伴って身になるのだなと思う秋です。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局　☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園　☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房　☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん　☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール　☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい　☎042-578-8258